

エコ・ファーストは、企業が環境大臣に対し、自らの環境保全に関する取組を約束し、その取組が、先進的、独自のでかつ業界をリードする事業活動である場合に、環境大臣が認定する制度です。認定企業数は2023年3月時点で54社、今回、第21回の新規認定で12社が加わり、合計で66社となります。

企業名 (五十音順)

主な約束の概要

大阪ガス株式会社



- ・メタネーションを軸とした都市ガス原料の脱炭素化、再生可能エネルギー導入を軸とした電源の脱炭素化により、2050年のカーボンニュートラルを実現
- ・天然ガスの高度利用等により、2030年度に1,000万トンのCO<sub>2</sub>排出削減貢献を実現

コカ・コーラ ボトラーズ  
ジャパンホールディングス  
株式会社



- ・全てのPETボトルを100%サステイナブル素材へ切り替え (2030年)
- ・日本国内で販売した自社製品と同等量のPETボトルを回収 (2030年)
- ・コカ・コーラ「森に学ぼう」PJ等の取組を通じ生物多様性の保全、持続可能な自然資源の活用

塩野義製薬株式会社



- ・薬剤耐性対策のための抗菌薬製造時に排出する化学物質の適正管理
- ・温室効果ガス排出量の削減 (2030年: 2019年度比 Scope1+2:46.2%、Scope3:20%)
- ・ラベル台紙の水平リサイクルの実証実験に取り組み、資源循環の推進と波及に貢献

シチズン時計株式会社



- ・2050年度までに工場・オフィスからのCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロ
- ・省エネルギー、長期使用性、環境保全性などに配慮した環境配慮型製品の拡大を推進
- ・全事業所で、地域社会における環境保全活動・生物多様性保全活動を推進

株式会社セブン&アイ  
ホールディングス



- ・店舗運営に伴うCO<sub>2</sub>排出量を、2030年までに50%削減、2050年までに実質ゼロ
- ・オリジナル商品で環境配慮型素材を2030年までに50%、2050年までに100%使用

株式会社タカショー  
デジテック



- ・ソーラータイプの商品普及によるCO<sub>2</sub>排出量削減100%
- ・ライトやイルミネーションのサービス化による資源循環システム構築への寄与
- ・リサイクルアクリルを利用した製品の普及、回収した製品のリユース実現

企業名 (五十音順)

主な約束の概要

株式会社椿本チエイン



- ・国内Scope1,2排出総量を2030年度に2013年度比46%削減
- ・SBT準拠のScope3排出量削減目標を設定し、サプライチェーン全体でCO<sub>2</sub>削減
- ・エコプロダクトの開発・販売促進により「地球にやさしい社会の実現」に貢献

有限会社藤岡保険  
コンサルタント



- ・エコアクション2.1ガイドラインに則った環境経営実践でCO<sub>2</sub>排出量削減
- ・通信機能付ドライブレコーダーでお客様の安全運転とエコドライブをサポート
- ・自社使用電力の再エネ100%化を実現 (自家消費型ソーラーカーポート導入)

みらい建設工業  
株式会社



- ・脱炭素社会を実現するための再生可能エネルギー事業への取組みを実施
- ・建設工事において有効な技術の利用によりCO<sub>2</sub>排出量30%削減 (2030年)
- ・自然エネルギーの活用、低燃費型施工機械導入等による温室効果ガスの削減

りそなアセットマネジメント  
株式会社



- ・ネットゼロへの貢献度が高い企業へ投資するインパクト投資ファンド(気候変動)の設定
- ・生物多様性保全への貢献のためパーム油、紙・木材のサプライチェーンに関わる主要投資先企業との対話・エンゲージメントやTNFD等の取組みを推進

ローム株式会社



- ・気候変動：温室効果ガス排出量を2030年度に2018年度実績より50.5%以上削減
- ・資源循環：2030年度に国内海外連結でゼロエミッション達成
- ・自然共生：生物多様性保全の活動を実施し次世代に引き継ぐ地球環境づくりを推進

YKK AP株式会社



- ・高断熱窓の普及によるCO<sub>2</sub>削減貢献量を、2024年度までに2020年度比1.5倍
- ・事業活動による自社からのCO<sub>2</sub>排出量(Scope1+2)を2030年度までに2013年度比50%削減
- ・産官学連携で市中の樹脂窓を回収・リサイクルするシステムの構築